



集団健診の様子

問 国から示された特定健診受診率の目標値は何%か。

副町長 特定健診受診率の目標値と本町の実績は左の通りである。

特定健診受診率の目標値と実績

	目標値	実績
23年度	65%	47.5%
24年度	65%	44.9%
25年度	60%	40.0%

※平成25年度の実績は2月末時点

特定健診の受診率を上げる取り組みは

答 関係部署と連携を密にし取り組む



赤嶺 雅和 議員

問 平成23年度から平成25年度までの受診率を上げるためにどのような方法をとったか。

副町長

① 特定健診受診向上対策指導員と特定健診協力員と連携し、訪問や電話による受診勧奨の強化。
 ② 受診の際の利便向上のため、保険証と受診券を一体型にした。
 ③ 町の特定健診受診勧奨用のポケットティッシュを配布し、周知活動をした。
 ④ 防災行政無線での集団健診への参加のよびかけも行った。

問 本町は受診率を達成するためにどのようなことを取り組むのか。

副町長

これまで行ってきた受診勧奨をより一層強化し関係部署と連携を密にして受診率を達成するため取り組んでいく。

問 特定健診推進員や保健師等の協力を得ながら特定健診の呼掛けに力を入れていく。地域の区長・自治会長に協力をお願いしてはどうか。また、受診率の高い方から公表してはどうか。

民生部長

特定健診の協力員は、現在22人おり、6人の区長・自治会長も協力員として活動している。公表については考えていない。

保育環境の整備で待機児童は解消したか

問 認可保育園の増改築事業はひと区切りついた。待機児童の状況にはどう影響したか。また、今後はどう取り組むか。

町長

増改築を行ったが、待機児童の解消には追いついていない。増園や分園を含め、いろいろな角度から検討したい。